

相澤病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	アンデキサネット アルファの適正使用に関する後ろ向き観察研究 (承認 No. 2026-048)
当院の研究責任者 (所属・職名・氏名)	薬剤センター 薬剤師 宮武智哉
他の研究機関および 各施設の研究責任者	
本研究の目的	目的：当院におけるアンデキサネットアルファの使用実態を後ろ向きに調査し、適応、投与状況、有効性、安全性及び抗凝固療法再開状況を評価し、今後の適正使用・適正管理に資する知見を得る 意義：アンデキサネット アルファは、直接作用型経口抗凝固薬（DOAC）による重篤な出血時に使用される中和薬であり、迅速な投与判断が求められる。一方で、本剤は高額な薬剤であることに加え、抗凝固作用を中和することに伴う血栓塞栓症や原疾患の増悪リスクが懸念される。そのため、適応の妥当性や投与後の管理は極めて重要である。 また、2025 年 11 月の添付文書改訂では、重要な基本的注意として「できる限り速やかに適切な抗凝固療法の再開を考慮すること」が追記され、投与後の抗凝固療法再開の重要性がより明確に示された。 本研究では、当院における本剤の使用実態と投与後管理、抗凝固療法の再開状況を明らかにすることで、適応判断や投与後管理の現状と課題を把握し、今後のアンデキサネット アルファの適正使用および適正管理に繋げる。
調査データ 該当期間	2022 年 5 月から 2026 年 7 月までの情報を調査対象とする
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さん 上記期間にアンデキサネットアルファを使用した全ての患者 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査項目を利用する ●研究期間：2026 年 8 月 25 日～2027 年 7 月 30 日
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	利用する情報から個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報などの個人情報を削除して患者さんを直接特定できる情報は削除致します。また、研究成果は学会・論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	相澤病院 薬剤センター 薬剤師 宮武智哉 Tel：0570-03-3600(代表)
備考	